

予算決算委員会都市経済分科会会議録

招 集

令和5年9月25日（月）午前10時 委員会室

出席委員（9名）

（分科会長）田 村 謙 介 （副分科会長）大 下 哲 治
岡 田 啓 介 奥 岩 浩 基 徳 田 博 文 中 田 利 幸
又 野 史 朗 松 田 真 哉 森 田 悟 史

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【経済部】若林部長

〔経済戦略課〕坂隠課長 岩田産業・雇用戦略室長 宮本企業立地推進室長
〔商工課〕石田次長兼課長 上場課長補佐兼商工振興担当課長補佐

【文化観光局】深田局長

〔観光課〕田仲課長 宮前観光戦略担当課長補佐
〔スポーツ振興課〕成田課長 宇津宮課長補佐兼スポーツ振興担当課長補佐
〔文化振興課〕原課長 山根史跡整備推進室長

【農林水産振興局】赤井局長兼農林課長

〔農林課〕深田課長補佐兼農林振興担当課長補佐 深吉土地改良担当課長補佐

【都市整備部】伊達部長

〔建設企画課〕遠崎課長
〔都市整備課〕本干尾課長
〔道路整備課〕山中次長兼課長
〔建築相談課〕神門課長
〔住宅政策課〕西村課長 潮課長補佐兼市営住宅担当課長補佐

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐 松下調整官

傍 聴 者

安達議員 稲田議員 今城議員 門脇議員 塚田議員 津田議員 戸田議員
錦織議員 西野議員 森谷議員 矢田貝議員 吉岡議員 渡辺議員
報道関係者2人 一般2人

審査事件

議案第79号 令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち当分科会所管部分

~~~~~

午前10時33分 開会

○田村分科会長 ただいまから予算決算委員会都市経済分科会を開会いたします。

本日は、11日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案1件について審査をいたします。

経済部所管について審査をいたします。

議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）のうち、経済部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

坂隠経済戦略課長。

**○坂隠経済戦略課長** 令和5年度一般会計補正予算のうち、本分科会に付託されました経済部所管の事業について、一括してポイントを絞って説明をいたします。

まずは、歳出予算の事業の概要を御覧ください。7ページ上段、社会人スキルアップ・再就職支援事業でございます。これは、米子市在住の社会人が職業能力の開発等に係る講座を受講する場合の費用の一部を支援するものでございます。職業訓練受講者等の実績見込みが想定を大幅に上回ることから、増額補正するものでございます。

次に、7ページ下段、「ととのうよなご」サウナツーリズム推進事業でございます。これは、鳥取県が取り組むサウナツーリズム推進に協調し、サウナに対する理解の促進及び観光誘客につなげるため、11月本市で開催される日本サウナ学会総会や関連イベント開催費用の一部を負担するものでございます。

最後に、8ページ下段、スポーツ振興事務費でございます。これは、10月29日に開催される市内で唯一のフルマラソンコースの大会である弓ヶ浜シーサイドマラソンの開催に係る経費の一部を支援するものでございます。

次は、予算書で説明いたしますので、令和5年度米子市補正予算書を御用意いただき、4ページを御覧ください。債務負担行為でございます。表の上段、鳥取県植樹祭開催委託料でございます。これは、令和5年5月に開催を予定しております、第68回鳥取県植樹祭の運營業務委託料でございます。事業実施に向けての準備、調整に時間を要することから、債務負担行為を追加するものでございます。説明は以上でございます。

**○田村分科会長** 当局の説明が終わりました。

委員の皆様は質疑、御意見をお願いいたします。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 社会人スキルアップ事業なんですけど、こちら現状何名ぐらいの方が利用されていて、見込み的には年度中にどれぐらいになる見込みでしょうか。

**○田村分科会長** 坂隠課長。

**○坂隠経済戦略課長** 交付、現時点だと交付、申請状況、トータルの見込みでございますけれども、最新の現時点の交付申請者数が139名。あとそれから未精算のものも入ってくるため幾らか減額にはなるんですけれども、現時点の交付決定額が290万2,000円ということになっております。このような状況を鑑みまして、年間で300名程度、これまでの平均1名当たりの単価が2万1,000円程度でございますので、それを掛けまして通算で650万円程度見込みがあるのではないかとということで、はじいておるところでございます。以上です。

**○田村分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 決算のときも質問させていただいたんですけど、これが二十名、三十名程度

から百二、三十名で、今年度さらにということで、大分、力を入れておられるのかなと思いますので、今おっしゃられたところはしっかりと達成は恐らくされると思いますけど、プラスアルファでこれによって、再就職支援事業ですので、決算のときには、決算分科会するときにも申しましたけど、しっかりと追跡調査ができるように引き続きお願いします。多分、今の利用者数さんの数を伺うと、恐らく今の業務体制だとなかなか比較的に業務量的に難しいのかなということもありますので、そういったところもどういうふうに解決をしていくのか、どうやってデータを取っていくのかってところも十分に準備していたければと思います。お願いします。

**○田村分科会長** ほかにございませんか。

又野委員。

**○又野委員** 私は、「ととのうよなご」サウナツーリズムのところでちょっと聞きたいんですけども、日本サウナ学会総会などに支援をするということで、このような学会の総会とか、学会って何かちょっと調べてみただけでも、物すごい数が日本にあるみたいで、米子でそういういろんな学会が開かれたりすることって、これ以外にもあったんじゃないかなと思うんですけども、何かそういう学会とかにこれまで支援したりしたことっていうのはあるんですかね、ちょっとこれまであまり聞いたことがなくて。

**○田村分科会長** 田仲観光課長。

**○田仲観光課長** 学会への支援ということでございますけども、本市におきましては、コンベンション関連支援補助金ということで、例えばコンベンションセンターで開催する補助金であったり、あとは駅前のホテルとかで開催されるコンベンションに対して補助っていうのをしているところでございます。以上です。

**○田村分科会長** 又野委員。

**○又野委員** その補助とこれは一緒なことだと考えておられるんですかね。それはコンベンションに対する補助っていうのは、それぞれ、そこで開催されるっていうことなんで、全部に影響していると思うんですよ。これは個別でやってみることだと思うんですけども、またちょっと違うんじゃないかなと思ひまして。

**○田村分科会長** 田仲課長。

**○田仲観光課長** 又野委員がおっしゃるとおり、少し色の異なるものなのかなと思うんですけども、今回のサウナ学会につきましては、いわゆる単なる学会の支援というだけではなくて、いわゆるサウナツーリズムの推進ということにつながるのではないかと考えております。例えば県外から多くの方、これいらっしゃいますし、あと近隣市町村の方ですとか、地域住民の方、そういった方がいらっしゃることによって、宿泊、飲食、あとは買物といった経済効果も生まれます。あとは地域住民の方がサウナを利用する機会っていう、そういったところの創出にもなりますし、そういったサウナを利用した健康増進につながる。そういった効果が見込まれておりますので、今まで先ほど申し上げましたコンベンションの補助とは少し毛色は異なるのかなという具合には思っております。以上です。

**○田村分科会長** 又野委員。

**○又野委員** 誘客効果だとかっていうのもありますし、市民の皆さんの健康増進のためという理由でこのサウナツーリズムって進められてるのは分かるんですけども、もしかしたらこれまでもそのような学会の総会ってあった可能性とかないのかなとちょっと思っ

て、もしそういうのがあったとしたらこれまではそういうのにはしてなくて、今回するようになったのか。今後も、もしそういうようなこれ以外の学会でもあったらするのかなのか、そこら辺のことを、今後のことについてはどうなるのかあれですけども、どのように考えておられるのかなと思ひまして。

**○田村分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 又野委員の質問を今お聞きして少しちょっと失礼かもしれませんが、質問が混乱してるかなと思ひてお聞きしました。冒頭、課長のほうからお答えしたとおり、学会というキーワードで支援したことがあるかということに関しては、いわゆるコンベンションという観点から様々な支援をしてきておりますし、これからもしていくだろうということであって、そういうお答えをしたところでもあります。一方、今回のサウナツーリズムの学会の誘致というのは、今担当のほうからも御説明したとおり、あくまでも新たな観光誘客の一つのコンテンツになるのではないかということで、鳥取県のほうで、全国的にサウナツーリズム、ああいうふうにサウナをリラクゼーションなり健康推進に使っていかうという機運が広まっておりますので、そういったような形で、県外から誘客の手段、新しい観光のコンテンツとして発信できるのではないかという取組を県が進めておられるのは委員御承知のとおりであります。これと協調して、県のほうで平井知事がこの学会を誘致されたという経過もございますので、県のほうもそれ相当の開催経費の負担をされるわけでもありますけども、地元米子市も協調してというお話があったものですから、今回予算をお願いしているということでもあります。

そして、学会というキーワードにとらわれずに、そういった観光コンテンツとか地域振興の観点で有効と思われるような催事、催事ですね、これ学会に問わず使います。催事について支援する実績があるか、あるいはこれから可能性があるかと言われれば、内容に応じて適切なものについては、これまでもそうですし、これからも支援させていただく、そのことを議会にお諮りする考えであります。以上です。

**○田村分科会長** 又野委員。

**○又野委員** そこら辺でこれに限らずっていうのが、やっぱり気持ち何かあったので、同じようにもし観光誘客になるようなこととかがあったりしたら、差別、差別って言ったら変ですけども、区別することなくやっぱりこういうふうにしていただく。学会っていうことにとらわれたかもしれませんけれども、やっぱりこういうの見たことがあんまりなかったんで、こういう学会の総会とかに支援をするっていうのは、ちょっとそこを確認させてもらったところです。以上です。

**○田村分科会長** ほかにございませんか。

〔「なし」と声あり〕

**○田村分科会長** ないようですので、以上で経済部所管部分の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午前 10 時 44 分 休憩**

**午前 11 時 19 分 再開**

**○田村分科会長** 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

都市整備部所管部分について審査をいたします。

議案第 79 号、令和 5 年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち、都市整備部

所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

西村住宅政策課長。

**○西村住宅政策課長** 議案第79号、令和5年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）の都市整備部所管部分について御説明いたします。

令和5年度米子市補正予算書の4ページをお開きください。債務負担行為でございます。表の2行目、市営住宅管理委託料でございます。先ほど議案第76号の条例改正について御説明いたしましたとおり、市営住宅の管理を鳥取県住宅供給公社に委託するに当たりまして、その委託契約に必要な債務負担行為の補正予算の議決をお願いするものでございます。内容といたしましては同公社への委託費としまして、市が管理している市営住宅及び市が県から管理委託を受けている県営住宅の管理費、そして初年度の準備費並びに修繕費を合わせまして5年間の委託料2億3,200万円を計上しております。説明は以上でございます。

**○田村分科会長** 当局の説明が終わりました。

委員の皆様への質疑、御意見を申し上げます。

〔「なし」と声あり〕

**○田村分科会長** ないようですので、以上で都市整備部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午前11時21分 休憩**

**午前11時45分 再開**

**○田村分科会長** 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

9月29日の予算決算委員会における予算分科会報告の意見の取りまとめを行います。報告に入れる意見について、委員の皆様への御意見を求めます。

御意見ありませんでしょうか。ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

**○田村分科会長** それでは、特になかった旨、報告させていただきます。

次に、決算分科会長報告に関する協議を行います。

お手元に配付しておりますのは19日の決算分科会で発言のありました委員から提出していただいたものを取りまとめたものでございます。委員の皆様、御覧いただいて御意見等いかがでしょうか。修正の有無等含めて御意見等を承ります。

私のほうから松田委員にちょっとお尋ねしたいんですけど、この土砂崩れの問題も発生しておるといふこと、この支障木の伐採とこの問題も同一に書かれておられますが、先ほどの答弁においては直接的な原因がないというふうな答弁がっております。これについてはこのままでよろしいでしょうか。

**○松田委員** 文言が。

**○田村分科会長** 文言。

**○松田委員** そうですね。私としてはもうちょっと先ほどあの、あ、いいですか。

**○田村分科会長** はい、松田委員。

**○松田委員** 先ほどの答弁の中でも、市の職員のみだけではなくて、やはりもう少し知見が高い方の調査なりした上でやはり進めるべきという観点がありますので、市の職員ペー

スで問題がないというか、因果関係がないというのは、まだ追及が必要だだと思いますので、そのまま入れていただきたいと思います。

○**田村分科会長** ほかの委員の皆さんはいかがでしょう。

徳田委員。

○**徳田委員** これとは直接関係ないんですけど、僕、防災士の資格持ってまして、現地のほう見させていただきました。鳥大のそういう土砂災害の専門家の先生の見立てでは、伐採は関係ないという見解でした。伐採したからそのため水が貯留ができないからだったということは言えないということでしたので、あながちその市の見解というのは間違っていないというふうに私は理解してます。

○**田村分科会長** 松田委員。

○**松田委員** 鳥大の先生というのはどなたとどなた。

○**徳田委員** 鳥大の中村教授っていう方ですけど。

○**松田委員** 中村…。

○**田村分科会長** 結局この事業についての指摘ということになりますので、そこから逸脱してしまう可能性、要するにこの当分科会が発した言葉によってこの関連づけを意識させてしまうという懸念は、私は感じてるところであります。したがって、支障木の伐採については確かに全委員の見解として問題があった、稚拙感が拭えないということはあると思いますし、市民への説明というのも足らなかったということ、これは分かるんですけども、いろいろ幅広にやっちゃうと、やっぱり正確に当分科会としての指摘には当たらない。しかも答弁も受けた上でですので、これを言っちゃうのかっていうところが、正直なところ懸念があります。

○**徳田委員** あくまでもやっぱり……。

○**田村分科会長** 徳田委員。

○**徳田委員** 盛土、盛土が原因だというふうに…。

○**田村分科会長** 松田委員。

○**松田委員** そうしますと例えばここの案としては、先ほどというか、支障木についての文言をもう一度修正した上で指摘事項とするのがベターじゃないかという分科会長の指摘ですか。

○**田村分科会長** そうですね。結局その土砂崩れという問題がこの支障木伐採というキーワードとひもづけをして当分科会から指摘をするというのは適切ではない。既に我々もう答弁を受けてますのでという考え方でありまして。したがって、この部分については別の言葉、もちろん前回の指摘にないものもありますけれども、収めていただくというのが賢明ではないかと、分科会長的には思うんですが。

岡田委員。

○**岡田委員** 松田さんが言われる意図はよく分かるんですけど、決算のやっぱり指摘とすると、ここの近年は雨量も増えており土砂崩れの問題も発生しているという、ここはやっぱり削除されたほうがいいじゃないですか。ここの部分を取って、要は支障木の撤去方法とか伐採に関してはきちっと説明しながらやってほしいということに、とにかく絞っていくってということで、言われたことは分かるんですけど、ただ決算事項に対しての指摘をすると、ここは削除されたほうがよりの確に伝わるような気がしますけどね、決算認定

としては。

○**田村分科会長** 中田委員。

○**中田委員** 私も、今、岡田委員が言われた形で、ちょっと削除部分であくまでもその支障木の伐採の選定から最後の後始末、とりわけ、このところが非常に後から問題視されて、そこからまた補正を組むってということがやっぱ根本的に一番この焦点が当たったところですね。そうしないとその根本原因の話になると、我々はこの決算の、これ決算ですけど、予算のときにそれを質問機会も含めてオーケーを出しているのに、自分たちのオーケーは何だったかっていう話になってしまいますよね。ですから、あくまでも我々が認めた事業の中のとりわけ後始末の部分が今回問題になったというところを指摘するということです、それ以外のところは私は削除されたほうがいいんじゃないかと思いますよ。

○**田村分科会長** 松田委員。

○**松田委員** そうしますと、例えばですけど、前半からの部分で4行目のところです。「結果として5年度の補正予算で伐採、支障木の撤去費用を対応することとなった。同事業については令和4年度の課題を生かし、来訪者の安全確保…」というふうな形であれば皆さんの同意を得られる。

〔「いいと思います。」と声あり〕

○**田村分科会長** 松田委員。

○**松田委員** やはり事業の進め方とか後始末の見通しが甘かったというところの問題だと思いますので、伐採関連にするところっていうのは皆さんのちょっと同意が得られないようなので、その削除をして、指摘事項には、やはりするべきだと思いますんで。

○**田村分科会長** 分かりました。ほかの委員の皆様、御意見よろしいでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○**田村分科会長** それでは、私もここの「なった。」で収めておられたんですけども「が」で続けたらどうですかというのは、私は実は申し上げたところなんですけれども、本日の答弁ではっきりと関係ないという旨ありましたので、もうここは「なった。」として、「が、」以降を削除をさせていただいて、「同事業については」というところでつなげるということによろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○**田村分科会長** では、ほかにごぞいますでしょうか。ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○**田村分科会長** それでは、先ほどの皆さんの御意見を踏まえ、そのように修正をさせていただきます。

以上で予算決算委員会都市経済分科会を閉会いたします。

**午前11時53分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会都市経済分科会長 田村謙介